

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り		5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスクの見積り		7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)
			頻度	可能性		頻度	可能性	対策 実施日	次年度 検討事項	
中間処理(化学処理)										
化学処理 (化学)	エアバルブを誤動作させて配合バランスに狂いが生じ、異常反応を起こして爆発し、近くで点検していた作業員が全身を打撲する。	・運転状況の常時監視 (レベゼルセンサー) ・点検時有毒マスク着用	2	1	6	Ⅲ (9)	Ⅱ (8)	H19	インタロックの設置	
最終処分										
重機作業	作業員が乗降扉を開かずかつシートベルトを着用しないまま作業場へ移動する時、不整地路盤で重機が大きくなりバウンドし車外へ投げ出され、全身を打撲する。	重機作業マニュアルと安全マニュアル	1	2	10	Ⅳ (13)	Ⅳ (12)			
共通事項(保全・点検)										
保全 (廃油・化学)	ストレナー清掃時、保護面をつけずに作業し顔に有害廃液が飛散し、乗傷を負う。	・清掃時、保護具着用 ・指差呼称	2	2	3	Ⅱ (7)	Ⅱ (6)	H19		
保全 (廃油・化学)	機器類を分解し、部材が重く落下させ、足を打撲する。	・複数による分解清掃 ・指差呼称	2	4	3	Ⅲ (9)	Ⅱ (7)	H19		
保全 (建設廃棄物)	重機のアタッチをクレーンで吊り上げた時、ワイヤーが強度不足だったため切断して落下し、アタッチの下敷きとなる。	キンクチェックの励行	2	4	10	Ⅳ (16)	Ⅳ (12)		ワイヤーの使用時間の把握	
保全 (建設廃棄物)	廃却戸の修理時、移動梯子を使用していて、滑り止め装置の設置を怠ったため、梯子が振れ作業員が落下し、全身を打撲する。	足元の固定を確実に	2	2	10	Ⅳ (14)	Ⅳ (12)		複数人作業の実施	
保全 (建設廃棄物)	廃却戸の修理中、活線の電源を切ること怠り、作業をしたため、作業員が感電する。	中央制御室のメインスイッチを切る	2	2	10	Ⅳ (14)	Ⅳ (12)		複数の作業員の確認	
保全 (建設廃棄物・他固形物)	草刈機を用いて作業員が草刈作業をする時、保護具(防護メガネ等)を着用していないので、地面の小石と草刈刃が接触し飛んできた小石が目当たり、失明する。	防護眼鏡の着用	2	4	10	Ⅳ (16)	Ⅳ (12)			
点検 (廃液)	タンク内を確認するためにタンク付属の梯子を上がっていた時、足元がすべりやすくなっているのを確認しなかったため、作業員が足を滑らせ、腰を打撲する。	昇降時の水濡れを確認	2	2	3	Ⅱ (7)	Ⅱ (6)			
点検 (廃油・化学)	高所での機器点検の際、安全帯のフックをかける場所がなく墜落し、全身を打撲する。	・単独による点検禁止 ・指差呼称	2	2	6	Ⅲ (10)	Ⅰ (3)	H19		
点検 (廃油・化学)	安全弁の点検中、突然弁が開き高温・高圧ガスが噴出し、作業員が全身を火傷する。	・点検・保全時、温度圧力確認(温度・圧力計) ・保護具着用	1	2	6	Ⅲ (9)	Ⅱ (8)	H19		